

5. まとめ

今年度のアンケート調査結果より、取組の進捗状況に応じて整理し、そのうち、「比較的進捗が遅れている取組項目」、「優先的に進めるべき取組項目」を分類※した。

※P16に記載の一覧を並べ替え、再分類した。

■: 達成率が50%未満の項目を示す

| No | 分類 | 主な取組項目 | | 実施機関数 | 達成率 |
|------|--------------------------------------|------------------------------------|--|-------|-----|
| 9 | 達成率が80%以上の取組項目 | ①県～市町村間のホットラインの整備に関する事項 | ホットライン構築による県・市町村の連絡体制強化、住民への情報提供の確実な実施 | 7/8 | 88% |
| 12 | | ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成・更新・活用に関する事項 | 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成・更新 | 7/8 | 88% |
| 32 | | ⑤避難行動のためのリアルタイム情報発信等に関する事項 | リアルタイム情報の沿川住民への提供等 | 7/8 | 88% |
| 42 | | ①水防活動の強化に関する事項 | 出勤基準の必要性の再確認、基準整備 | 7/8 | 88% |
| 54 | | ①防災教育や防災知識の普及 | 水害リスクの程度に応じた水災害意識啓発の広報（出前講座の実施） | 7/8 | 88% |
| 21 | | ③ハザードマップの作成・周知等に関する事項 | 広域避難に向けた調整及び検討 | 6/7 | 86% |
| 19 | | ③ハザードマップの作成・周知等に関する事項 | ため池ハザードマップの作成、周知 | 5/6 | 83% |
| 27 | | ③ハザードマップの作成・周知等に関する事項 | 住民一人一人のマイタイムライン・マイ防災マップの作成促進 | 5/6 | 83% |
| 11 | 達成率が50%以上80%未満の取組項目 | ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成・更新・活用に関する事項 | 水位周知河川外における発令基準検討 | 6/8 | 75% |
| 35 | | ⑤避難行動のためのリアルタイム情報発信等に関する事項 | 簡易水位計、量水標、CCTVカメラの設置検討・整備 | 6/8 | 75% |
| 36 | | ⑤避難行動のためのリアルタイム情報発信等に関する事項 | レーダ雨量計等の代替手段の利用（情報提供場所の理解促進（ホームページリンク）） | 6/8 | 75% |
| 45 | | ①水防活動の強化に関する事項 | 想定最大規模洪水を踏まえた浸水時においても災害対応を継続するための庁舎等施設の改修検討（自家発電装置等の耐水化など） | 6/8 | 75% |
| 53 | | ①防災教育や防災知識の普及 | 小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施 | 6/8 | 75% |
| 59 | | ①情報伝達、避難計画等 | 土砂災害警戒区域に関わる現地での周知方法の検討 | 6/8 | 75% |
| 22 | | ③ハザードマップの作成・周知等に関する事項 | 広域避難を考慮したハザードマップへの更新・周知 | 5/7 | 71% |
| 50 | | ③排水活動及び施設運用の強化に関する取組事項 | 大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動 | 2/3 | 67% |
| 15 | | ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成・更新・活用に関する事項 | 多機関連携型タイムラインの拡充 | 5/8 | 63% |
| 20 | | ③ハザードマップの作成・周知等に関する事項 | 改正水防法への理解促進、浸水実績図の公表に向けた仕組みづくり | 5/8 | 63% |
| 24 | | ③ハザードマップの作成・周知等に関する事項 | まるごとまちごとハザードマップの検討 | 5/8 | 63% |
| 44 | | ①水防活動の強化に関する事項 | 関係機関が連携した実働水防訓練の実施（水防資材の点検管理含む） | 5/8 | 63% |
| 47 | | ②水防活動支援のための情報公開、情報共有に関する事項 | 重要水防箇所の情報共有と関係市町等との共同点検の実施 | 5/8 | 63% |
| 48 | | ③排水活動及び施設運用の強化に関する取組事項 | 排水施設等の検討・整備 | 5/8 | 63% |
| 7 | | ③河川管理の高度化・充実 | 樋門、樋管等の無動力化、人員等の運用体制の確保 | 1/2 | 50% |
| 14 | | ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成・更新・活用に関する事項 | タイムラインに基づく訓練の実施 | 4/8 | 50% |
| 18-B | 比較的進捗が遅れている取組項目（達成率が50%未満の取組項目） | ③ハザードマップの作成・周知等に関する事項 | 中小河川の洪水浸水想定区域を反映した水害ハザードマップの作成 | 2/8 | 25% |
| 51 | | ④土地利用に関する取組事項 | 浸水被害軽減地区の検討 | 2/7 | 29% |
| 52 | | ④土地利用に関する取組事項 | 適切な土地利用の促進、周知 | 3/7 | 43% |
| 26 | 優先的に進めるべき取組項目（命を守るための「緊急避難」に関わる取組項目） | ③ハザードマップの作成・周知等に関する事項 | 避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な退避場所の確保 | 4/8 | 50% |
| 29 | | ④情報伝達・避難計画、平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項 | 要配慮者利用施設の避難計画作成の促進および避難訓練の促進支援 | 7/8 | 88% |
| 30 | | ④情報伝達・避難計画、平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項 | 避難行動要支援者の避難支援体制の整備 | 7/8 | 88% |

5. まとめ

令和5年度の取組状況を調査し、進捗が遅れている項目を抽出した。

圏域内で進捗が遅れている項目に対しては、今後も継続的に県内事例(制度・ノウハウ等)を収集・共有し、取組の進捗を図る。

<比較的進捗が遅れている取組項目>

| 対策種別 | No | 取組項目 | 市町村の実施状況 (青：実施済・実施中、赤：未実施) |
|-------------------------------|------|--|-------------------------------------|
| ソフト対策（逃げ遅れゼロに向けた避難時間確保のための取組） | | | |
| ③ハザードマップの作成・周知等に関する事項 | 18-B | 中小河川の洪水浸水想定区域図を反映した水害ハザードマップの作成 【取組達成率：25%】 | ● 五條市、川上村 |
| | | | ● 宇陀市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、東吉野村 |
| ソフト対策（被害の最小化のための迅速・的確な行動への備え） | | | |
| ④土地利用に関する取組事項 | 51 | 浸水被害軽減地区の検討 【取組達成率：29%】 | ● 下市村、川上村 ● 五條市、吉野町、大淀町、黒滝村、東吉野村 |
| | 52 | 適切な土地利用の促進、周知 【取組達成率：43%】 | ● 下市村、川上村、東吉野村 ● 五條市、吉野町、大淀町、黒滝村 |

5. まとめ

令和5年度の各市町村の取組進捗状況を踏まえ、以下の考え方により抽出した優先的に取組を進めるべき項目の達成に向けて、必要な情報共有、連携等を行い、確実な進捗を図る。

命を守るための「緊急避難(発災から72時間までの安全確保)」に関わる施設整備、体制構築等のうち、比較的早期に進めるべき取組項目

<優先的に進めるべき取組項目>(達成率が100%に満たない項目)

| 対策種別 | No | 取組項目 | 市町村の実施状況 (赤：未実施) |
|------------------------------------|----|--|---------------------|
| ソフト対策（逃げ遅れゼロに向けた避難時間確保のための取組） | | | |
| ③ハザードマップの作成・周知等に関する事項 | 26 | 避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な退避場所の確保 【取組達成率：50%】 | ● 五條市、宇陀市、大淀町、黒滝村 |
| ④情報伝達・避難計画、平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項 | 29 | 要配慮者利用施設の避難計画作成の促進および避難訓練の促進支援 【取組達成率：88%】 | ● 黒滝村 |
| | 30 | 避難行動要支援者の避難支援体制の整備 【取組達成率：88%】 | ● 黒滝村 |